

1. うわまち病院の周辺図について

資料 3

周辺の概況

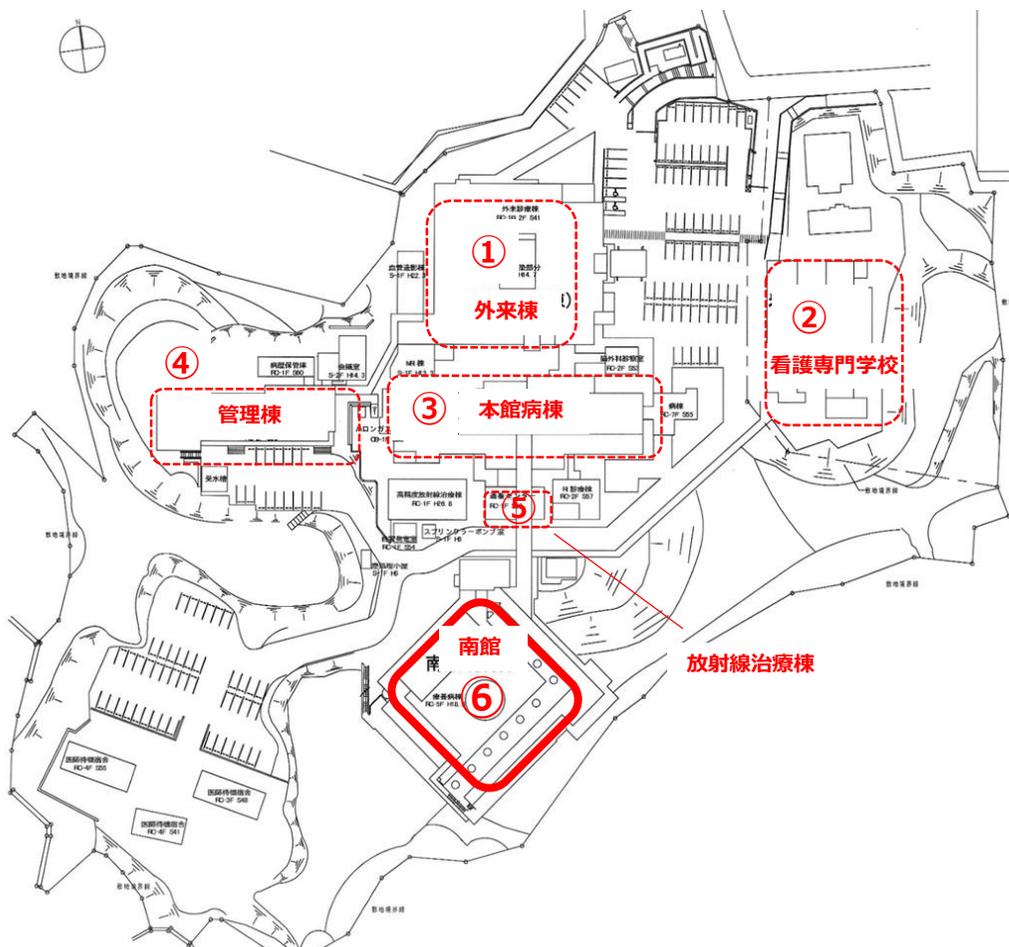
- 横須賀中央駅から徒歩約12分
- 最寄りのバス停から徒歩5分
- 経路に商店街とコンビニあり
- 近隣に運動施設あり
(はまゆう公園・横須賀アリーナ)



2.施設・敷地の現状と概要

(1) 概況

築年数の浅い南館を除き、既存の病棟や管理棟は老朽化が進んでおり、新たな用途での活用が難しい



【主な施設一覧】

	施設名称	竣工年	延床面積	備考
①	外来棟	昭和41年	4,477.13㎡	外来、救命救急病棟 (24床)
	地上2階地下1階建/RC造			
②	看護専門学校	昭和53年	3,067.00㎡	看護専門学校
	地上5階建/RC造			
③	本館病棟	昭和40年	7,312.25㎡	病棟 (293床)
	地上7階建/RC造			
④	管理棟	昭和56年	1,129.22㎡	外来、管理部門
	地上2階建/RC造			
⑤	放射線治療棟	平成26年	195.96㎡	放射線治療
	1階建/RC造			
⑥	南館	平成18年	6,987.14㎡	手術室、病棟 (100床) リハビリテーションセンター
	地上5階建/RC造			

3.うわまち病院跡地の活用について (大学エリアと跡地全体のゾーニング)

跡地活用に向けた基本的な考え方について

(1) 大学エリア

- うわまち病院南館を中心としたエリアを「大学エリア」として整備

(2) その他のエリア

- 大学エリア以外は、民間事業者の進出等による利活用を検討

※既存建物の活用について

- 築年数の浅い南館は大学施設へ転用する。
- その他の建物は解体条件付きで売却する。

4. 大学施設整備の考え方

(1) 大学校舎（南館）

既存の施設機能を活かしながら、看護系大学の校舎等として、ふさわしい改修を行う

(2) 大学関連施設（増築棟）

南館では面積的に配置が難しい施設（研究室、図書館、地域交流スペースなど）は別棟による増築整備を検討する。

(3) 附属診療所

地域の声や市内の医療施設の需給動向などを踏まえ、今後策定する基本計画の中で設置について検討する。

(4) 運動施設

運動場・体育館等は市内公共施設を利用し、大学エリアの有効的な活用を目指す。

(参考) 大学施設の機能の例

資料 3

大学施設の規模の想定

看護学科 1学年80人（計320人）の学生・教員事務員等が収容可能な施設規模

施設区分	必要とする主な機能の一例
事務関係	事務室・教務室
	理事長・学長室
学生支援関係	保健室・カウンセリング室
	就職支援室・学生相談室
教室・研究関係	教室・演習室・実験室・情報処理室
	基礎看護実習室
	実習室（母性・小児・地域・在宅）
	研究室
その他施設	学生食堂・休憩室
	地域交流関連施設
	学生会室・クラブ室・ホール

今後、必要施設の配置等を検討し、南館を中心に具体的な大学エリアのゾーニングを検討する

